

010 大日向町区有文書について

1 大日向区の観音堂にある夫婦桜が須坂市天然記念物指定を受けました。

その説明板の説明文作成の依頼があり、その際に区有文書の所在を知り、編さん室で借用し目録化することについて承諾をえました。

2 当初の目録点数は 172 点でしたが、追加が 32 点あり、総数は 204 点にのぼりました。時代別点数はつぎの通りです。

江戸期 14 点

明治期 65 点

大正期 25 点

昭和前期 52 点

昭和後期 41 点

年代不詳 1 点

欠番* 6 点

なお、江戸期と明治期の 51 番までについては、『上高井誌』編さんの際に目録化したラベルが貼付けされていたので、それを活かして今回整理しました。そのため、所在不明な 6 点については欠番*とし、空欄にしてあります。

3 史料内容の概略はつぎのようです。

江戸時代については、大日向町が北ノ沢用水の取り入れ口付近に存在するので、湯水期における時水（時間給水）について水利関係 5 か村の約定があり、そのほか須坂藩からの御達、嘉永期の集落内の諸宮・観音堂などの絵図面があります。

明治期には土地とくに共有地、租税関係、治水関係が目立ち、大正期には県税戸数割をはじめ役場文書往復つづりがみえ、昭和期になると大正期から昭和後期にかけて青年会誌がよく残っています。昭和前期には豊丘村経済改善計画、農会、方面委員、尚武会（在郷軍人会）関係が目につき、また、昭和後期には東村の建設計画・それにともなう財産処分関係、初集会と呼ばれる区総会記録があり、村政・区政の一端が除き見られます。

4 文書整理は専門員青木廣安があたりました。

平成 20 年 12 月 24 日 須坂市誌編さん室